

若草幼稚園の保育の特色といえば・・・「たっぷり遊ぶ！」そんなイメージをお持ちの方も多いことと思います。本園では「遊びを通しての学び」をととても大切に考えています。とは言っても、「遊び=学び??わかりにくいし、見えにくいし・・・どこが学びなの??」そんな風には感じませんか？

様々な研究で幼児期には「非認知能力」を育むことが、その後の心の健全や幸福感を高め大切だと言われています。子育て番組や雑誌などでもよく聞いたり、耳にするようになりましたね。「非認知能力」とは簡単に言えば、読み・書き・計算などの「認知的能力」でない力、数値化しにくい能力のことを言います。具体的には、何かに熱中・集中して取り組む姿勢、自分の気持ちをコントロールすること、他人と協力しコミュニケーションをとりながら活動すること、自分を大切に思えることといった力の事です。こうした、能力・態度・姿勢は小学校以降の学習につながるのはもちろん、それだけではなく、人が主体的、対話的に生きていく上での重要な力であり、その成果が今すぐにはなくあとから出てくることから「あと伸びする力」と言われたりもしています。

本園の自然あふれる園庭で遊ぶ子ども達を見ていると、好奇心にあふれ「やってみたい!」「なんでだろう」「知りたい」と意欲的に動き出し、熱中して遊んでいる姿があります。目をキラキラ輝かせ、「わくわくがとまらない!」そんな表情を見ていると嬉しくなります。

友達と遊ぶ中で、心地いい、楽しいをたっぷり味わったり、それだけでなく時に葛藤もありますね。他者に自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりする中で、自分と違う考えがあることに気付き、相手に合わせる時があったり、自分の考えをさらに広げたり…と、友達と協力し、自分の思いをコントロールしながら活動を進めています。

身近に生き物がいる、そして大仏様を見上げて過ごす環境では、思いやりの気持ちや命を大切にすることなどが自然と子ども達に沁みこんでいるようにも感じています。

私たち職員は「非認知能力」の大切さを意識しつつ、子ども達の遊びをよく見て、興味・関心・疑問・つぶやきに心を寄せ、必要な道具や素材を用意したり、環境を整えたりしながら一緒に楽しみ、考え、達成した喜びやうまくいかなかった悔しさに共感しています。子ども達の「今」に丁寧に寄り添うことが、子ども達の「あと伸びする力」につながり、そして「生きる力」につながっていくのだと思います。

つい目に見える形での成果やできばえを求めがちになってしまいますし、目に見える安心・・・ですが、よりはやく多くのことをできるようにすることよりも、見えにくいけれども幼児期の「今」子ども達に本当に大切なことをじっくり、たっぷり積み上げていきたいな・・・と思っています。

どうぞまた若草幼稚園に遊びにいらしてくださいね。春から入園のお友達!楽しみにまっていますね~!

子育て支援事業 ぐんぐん 担当

